

東京科学大学の研究ポリシー

東京科学大学（以下「本学」という。）は、科学に立脚して社会の発展に指導的役割を果たすことのできる市民を育成する。この理念のもとに必要な専門的知識を学生に修得させ、かつ人格の陶冶をなすとともに、理学、工学、医学、歯学、人文社会科学及びこれらの融合学術分野の理論と応用を研究し、その深奥を究めて科学と技術の水準を高めることを大学の目的とし、もって文化の進展に寄与し、地球上全ての構成員の福祉に貢献することをその使命として定めている（国立大学法人東京科学大学組織運営規則第2条第2項）。

この目的及び使命に基づき、本学における研究の基本的な在り方を示した研究ポリシーを以下のとおり定める。

1. 研究の理念

本学における研究は、基礎的・基盤的・長期的な観点に基づく多様で独創的な研究成果を創出し、社会が必要とする問題解決のための知識を提供することにより、人類の幸福や豊かな地球環境の実現に貢献し、もって世界の平和と善き未来に資するものとする。

2. 大学の責務

本学は、構成員の自由な発想に基づく真理探究に関する活動を尊び、学問研究、思想及び表現の自由を保障し、研究に必要な基盤的な資金や研究環境の確保・充実に努める。

3. 研究に携わる者の責務

- ・本学における研究の理念に沿って、誠実に研究を行う。
- ・研究者としての誇りを持ち、法令や関係する学内外の規則等を遵守し公正かつ信頼に足る研究活動を行う。
- ・研究の倫理性を重視し、人間の尊厳、人権及び基本的自由を尊重するとともに、関係する倫理規範を遵守する。
- ・研究の学問体系における意義を正しく認識し、その成果が社会に及ぼす影響について省察を常に怠らない。
- ・広報活動等を通して研究成果を積極的に社会と共有し、対話する。
- ・研究者コミュニティ及び所属組織の研究環境の質的向上に関する取組に積極的に参加する。